

社会医療法人愛育会 福田病院

後期研修医プログラム 産婦人科専攻医募集案内 2025年4月採用分



分娩数において日本一を誇る圧倒的な症例数を土台に、
他では真似できないスピードで多くの臨床経験、手技取得が可能。

その病院は、熊本市の中心部にあります。

2023年出生数 3,815名

まずは、このパンフレットをご覧ください

どうぞお気軽に病院見学へお越しください。

【福田病院の特長】

当院は、熊本城や繁華街からも近く、熊本市の中心部に位置しており、2024年で創立117年になります。分娩数は、毎年3,500件以上と多く、産科疾患のほとんどを経験することができます。NICUを併設しており、超未熟児の管理も行っております。熊本県の地域周産期母子医療センターに認定され、母体搬送も受け入れております。婦人科分野については、腹腔鏡を中心とした手術を行っております。悪性疾患は、現在取り扱っておりませんので、基幹施設と協力して研修を行っております。不妊症治療は、顕微授精も行っております。また、当院の関連施設として、まっばせレディースクリニック、菊陽レディースクリニック、ソフィアレディースクリニック水道町（不妊症専門）、八代レディースクリニックがあります。日本産科婦人科学会専攻医指導施設であり、当院で産科婦人科の専門医を取得することが可能です。

1. 豊富な症例
 - (ア) 年間 3,500 以上の分娩数（出生数 17 年連続日本一）
 - (イ) 地域周産期母子医療センターに認定（NICU 併設）
 - (ウ) 産婦人科専門医取得可能
 - (エ) 日本周産期新生児医学会 母体・胎児研修施設 基幹施設等
 - (オ) 麻酔科標榜医も修得可能
2. 医師へのサポートが充実
 - (ア) 約半数近くが女性医師（38名中17名）
 - (イ) 院内保育所完備（夜間保育も可能）
 - (ウ) 女性医師が妊娠したときには、勤務軽減
 - (エ) 男性研修医でも産後パパ産休（4週間）取得可能（取得実績あり）
3. オン・オフがとれる勤務環境
 - (ア) 当直の翌日は勤務なし
 - (イ) 年に1回は1週間の長期休暇あり（有給休暇7日連続消化可能）
 - (ウ) 大学への入局が自由
4. 経験豊かな充実した指導医
 - (ア) 産科婦人科各分野のエキスパートが複数います
周産期、婦人科（腫瘍、腹腔鏡、子宮鏡など）、内分泌・不妊症、更年期
 - (イ) 麻酔科指導医、標榜医がいます
 - (ウ) 新生児専門医、小児科専門医、外科専門医がいます
 - (エ) 乳腺外科・肛門外科
5. 周産期（産）科 短期研修コースあり（6ヶ月コース・1年コース）
特に僻地や海外での診療を考えている方に最適です ※医師随時募集

【スタッフ紹介】 (2024年5月時点)

診療科	職名	氏名	医師資格取得年度	専門医・指導医（その他専門領域）
産婦人科	理事長	福田 稠	1973年	産婦人科専門医（周産期）
	総病院長	伊藤 昌春	1972年	
	総副病院長	東 憲次	1977年	産婦人科専門医（腫瘍学）
	病院長	河上 祥一	1991年	産婦人科専門医・指導医（周産期・漢方） 周産期・新生児医学会（母体胎児）暫定指導医 ICD・ALSO・J-CIMELS インストラクター
	副病院長	新田 慎	1990年	産婦人科専門医・指導医（産婦人科腫瘍）
	副病院長	福田 曜子	2001年	産婦人科専門医・指導医（新生児・生殖内分泌） 麻酔科標榜医
	LDR 医長	杉本 千里	1988年	産婦人科専門医・指導医（周産期・新生児）
	検診部門（婦人科）医長	小原 明美	1984年	産婦人科専門医・女性医学学会専門医 （更年期・内分泌）
	MFICU センター長	蔵本 昭孝	1993年	産婦人科専門医・指導医 周産期・新生児医学会（母体胎児）専門医・指導医、 J-CIMELS インストラクター、新生児蘇生法「専門コース」インストラクター
	医局長・MFICU 副病棟医長 LDR 副医長・4階外来医長	三谷 穰	1993年	産婦人科専門医・指導医 周産期・新生児医学会 （母体胎児）専門医・指導医
	内分泌外来副医長・ LDR 副医長・4階副外来医長	榎木 美智子	1999年	産婦人科専門医・指導医（生殖内分泌）
	B・C 棟病棟医長	林 享子	2003年	産婦人科専門医、麻酔科標榜医
	内分泌外来医長	伊藤 史子	2003年	産婦人科専門医・指導医、女性医学学会専門医 生殖医学会生殖医療専門医、日本スポーツ協会 公認スポーツドクター
		印出 佑介	2003年	産婦人科専門医・指導医、臨床遺伝専門医 周産期・新生児医学会（母体胎児）専門医・指導医、 超音波専門医・指導医、新生児蘇生法「専門コース」 インストラクター
	MFICU 副病棟医長・ A 棟副病棟医長	齋藤 悦子	2009年	産婦人科専門医・指導医、 周産期・新生児医学会（母体胎児）専門医、 がん治療認定医、婦人科腫瘍専門医
		佐藤 智紀	2014年	産婦人科専門医、J-CIMELS インストラクター
		荒井 稚未	2017年	産婦人科専門医、J-CIMELS インストラクター
	清水 悠仁	2018年	産婦人科専門医【まつばせ LC 勤務】	
	新垣 貴之	2018年	【菊陽 LC 勤務】	

診療科	職名	氏名	医師資格 取得年度	専門医・指導医（その他専門領域）
産婦人科	後期研修医（2年目）	楊 絢太	2017年	
	後期研修医（2年目）	鈴木 和久	2020年	
	後期研修医（2年目）	田中 清史	2021年	
	後期研修医（1年目）	橋爪 慎介	2022年	
	後期研修医（1年目）	森 涼子	2022年	
小児科 新生児科	総副病院長	三淵 浩	1984年	小児科専門医・指導医、臨床遺伝専門医・指導医、周産期新生児医学会（新生児）専門医・指導医、新生児蘇生法「専門コース」インストラクター
	小児科健診外来医長	土屋 廣幸	1974年	小児科専門医、ICD
	副病院長・小児内科部長	後藤 啓	1995年	小児科専門医（小児循環器科）
	新生児科部長	高橋 大二郎	2000年	小児科専門医、臨床遺伝専門医 周産期新生児医学会（新生児）専門医・指導医 日本小児血液がん学会暫定指導医 新生児蘇生法「専門コース」インストラクター
	新生児室医長	後藤 仰子	1995年	
	NICU 副病棟医長	藤江 由夏	1998年	新生児蘇生法「専門コース」インストラクター
	小児科外来副医長	中田 絵美	2002年	
		持永 華江	2004年	小児科専門医
	小児科健診副外来医長	古橋 佑季	2015年	新生児蘇生法「専門コース」インストラクター
		山本 隼吾	2018年	
麻酔科	麻酔科部長	橋本 正博	2004年	麻酔科専門医・麻酔科指導医
		高木 美砂子	1983年	麻酔科専門医・麻酔科指導医
		井 直美	1993年	麻酔科認定医
		吉田 拓二	2010年	麻酔科専門医
乳腺外科 肛門外科	検診部門（乳腺）医長	蓮田 慶太郎	1984年	乳腺専門医、大腸肛門病専門医、外科専門医

【診療実績】（2023年）

- ◆ 外来患者数：1日平均 429.4名

- ◆ 分娩情報： 出生総数：3815名 分娩数：3739件
帝王切開率：28.2%
多胎妊娠（双胎以上）：双胎 75件（内、経膈分娩数 3件）
無痛分娩 1211名
骨盤位（逆子）経膈分娩 0名
前回帝王切開後の経膈分娩 5名
立ち会い分娩 1729名
ハイリスク管理分娩数 1891件
母体搬送受け入れ 105名

- ◆ 手術情報 手術総数 1406件
内 帝王切開 1055件
婦人科手術
開腹手術 19件
腹腔鏡下手術 95件
子宮鏡下手術 142件
他 86件
乳腺・肛門外科 9件

- ◆ 生殖内分泌実績 妊娠総数 486名
体外受精 50.0%（対移植）
顕微受精 25.0%（対移植）
凍結胚移植 50.6%（対移植）
人工授精 9.6%

- 最高年齢 45歳（凍結卵子融解 ICSI）
最長不妊期間 10年7ヶ月（凍結融解胚移植）
体外受精最多胚移植 15回
人工授精最多回数 8回
人工授精最少精子濃度 200万/ml
人工授精最低運動率 18%

【2025年度 後期研修医プログラム 産婦人科専攻医募集要項】

下記要領で募集を行います。

研修期間：2025年4月より3年間（開始時期については変更可）

募集人員：産婦人科若干名

応募資格：医師免許取得後2年以上の卒後臨床研修修了、または修了見込みの者

身分：常勤職員（医師）

給与：後期研修医初年度の基本給月額440,000円

（賞与と所定の日当直手当、時間外手当を含む初年度推定年収10,000,000円以上
（2023年度実績額）。以後は院内規定により昇給）

休日：4週4休＋当直明けは休み（当直入17:45～翌朝8:45以降の勤務なし）

年次休暇は、6か月継続勤務した場合10日付与【労働基準法第39条】

住居：病院から1km圏内に居住することを条件に賃貸家賃の半額を補助します。

（補助額上限80,000円/1か月）

※引越し費用は、一律300,000円を病院が負担します。

見学旅費：見学の際の交通費は、基幹となる交通手段（航空機、JR、高速代等）
の領収書（往復分）にて精算

託児施設：院内保育園あり（企業主導型保育所）、24時間対応

その他：各種社会保険完備

【応募手順】

1) 病院見学 随時対応いたします。まずはメールでお気軽にお問い合わせ
ください。見学終了後、当院の病院長・医局秘書・人事部とメール
にて、ご質問への対応やその他、細かな調整を行います。

2) 応募書類の提出

見学後の調整で福田病院での研修が確定となった際には、
以下の応募書類のご提出が必要です。

1. 履歴書（市販のJIS規格A4版、顔写真貼付のこと）
2. 医師免許証の写し
3. 保険医登録票の写し

【目標】

日本産科婦人科学会専門医取得を目指した、高度な知識技術と医療人としての豊かな人格の形成を目的とします。

【研修施設】

- ◆ 日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ◆ 日本周産期新生児医学会 母体・胎児研修施設：基幹施設 新生児：指定施設
- ◆ 日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
- ◆ 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ◆ 麻酔科認定病院
- ◆ 卒後臨床研修協力型病院
 - ① 熊本大学病院
 - ② 熊本中央病院
 - ③ くまもと県北病院
 - ④ 熊本医療センター
 - ⑤ くまもと森都総合病院
- ◆ 熊本大学医学科学生臨床実習協力病院
- ◆ 看護師・助産師等養成施設の実習病院

【研修プログラム】

1. 初年度

- * 産婦人科全般を4～6ヶ月ごとにそれぞれの指導医の元に研修します。
 - ▶ 例 産科：周産期センター長等
婦人科：副院長
- * 採血、点滴、注射等の基本実技を習得します。
- * 指導医と共に日直（月1回程度）・当直（週1回程度）があります。
- * 3年間を通して産婦人科麻酔を研修します。

2. 2年目

- * 主治医として、患者を受け持ち、産婦人科全般を研修します。
- * 指導医と共に日直（月1回程度）・当直（週1回程度）があります。
- * 希望によって以下の診療を指導医と3ヶ月毎に選択が可能です。
 - ▶ 例 不妊症：ARTセンター長
更年期：検診センター長
(NICU：新生児センター長)

3. 3年目

- * 希望の専門分野を中心に、産婦人科全般を研修します。
- * 単独での日直（月1回程度）・当直（週1回程度）があります。
- * 日本産科婦人科学会専門医取得のための準備をします。
- * 以下の診療を連携施設にて行います。
悪性疾患：連携施設（6ヶ月）、地域枠：連携施設（3ヶ月以上）

【学会活動】

地方部会等への発表も行っており、発表者の場合は、制限なく学会出張可能です。また、未発表の場合は、年に1回の学会研修出張を行っております。新入の医師は、優先して日本イアンドナルド超音波講座（産婦人科に特化した超音波講座）の出席が可能です。

【研修医の1週間（例）】

	月	火	水	木	金	土
朝	8:35～ 朝礼		8:30～ 周産期カンファレンス		8:30～ 診療会議 (通称: 医局会)	8:30～ 術前カンファレンス
午前	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術	明け休み	外来・手術
午後	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来		外来
				当直		

- ・毎月：最終火曜日 合同カンファレンス 18時00分～
- ・就業時間：8時45分～17時45分（昼休憩：12時30分～13時30分）
ただし、月・水・金・土は上記の時間にカンファレンス、診療会議があります。
- ・当直：17時45分～朝8時45分（土日の当直が月1回程度）
- ・休日日勤（日曜、祝祭日、年末年始の休院日）：8時45分～17時45分
- ・宅直は、上記時間となる。（宅直は、月3～4回）

【病院の概要】

病院名 社会医療法人愛育会 福田病院
 所在地 〒860-0004 熊本市中央区新町2丁目2番6号
 設立年月日 明治40年5月1日
 病床数 161床
 標榜科 産科、婦人科、小児科、麻酔科、肛門外科、乳腺外科、新生児内科、小児外科

【福田病院 医師の職場としてのアピールポイント】

1. 何より圧倒的な症例数！！ 他では真似できないスピードで手技を磨ける。
2023年の出生数は3,815人
2. 忙しい職場であることは間違いがないが、医師が多数いるため、一個人に負担が集中してかかることは決してない
3. お産のローリスクからハイリスクまで全部経験できる（大きな病院だとハイリスクばかりで通常分娩の経験が出来ない）
4. 転勤がない
5. 女性医師は妊娠・子育ての際、勤務が軽減される（産休・育休の実績多数）
6. 男性後期研修医にも産後パパ育休取得実績あり（4週間）
6. 24時間の院内保育園を完備していて、働きやすい
7. 産婦人科の専門医取得後に、周産期専門医か不妊症治療専門医も当院で取得できる
8. 帝王切開の判断を自分でし、麻酔も自分で施術し、帝王切開を安全に終わらせるところまで自分でできる。麻酔技術は専門医から指導を受けられるのが当院の特長。大きな病院だと麻酔の勉強は麻酔科に移らないといけない

〒860-0004 熊本市中央区新町2丁目2-6

社会医療法人愛育会 福田病院

TEL096-322-2995 FAX096-355-3775

e-mail: k-hashimoto@fukuda-hp.or.jp （担当：総務部長 橋本和明）

※お気軽にメールにて病院見学についてお問い合わせください。

医局スタッフ一同、皆様からのメールを心よりお待ちしております。